

ロタウイルス感染症予防接種について【説明書】

予防接種法に基づき、ロタウイルス感染症の定期予防接種を行います。この説明書をよく読み、予防接種の必要性や副反応について理解したうえで接種してください。わからないことは、接種を受ける前に医師に質問しましょう。

1 ロタウイルス感染症について

ロタウイルス感染症とは、ロタウイルスによって引き起こされる急性の胃腸炎で、乳幼児期（0～6歳頃）にかかりやすい病気です。ロタウイルスは感染力が強く、ごくわずかなウイルスが体内に入るだけで感染してしまいます。乳幼児は、激しい症状が出ることが多く、特に初感染で症状が強くなります。主な症状は、水のような下痢、吐き気、嘔吐（おうと）、発熱、腹痛です。脱水症状がひどくなると点滴が必要となったり、入院が必要になることがあります。通常、5歳までにほぼすべての方がロタウイルスに感染し、5歳までの急性胃腸炎の入院患者のうち、40～50%前後はロタウイルスが原因といわれています。

2 副反応について

接種当日の重い副反応として、まれにアナフィラキシー症状（ワクチンへのアレルギーによる発疹、呼吸困難など）がおこる可能性があります。また、接種を受けてから2週間程度は、腸重積症のリスクが通常より高まるという研究報告もあります。腸重積症は、腸の一部が隣接する腸管にはまり込み、腸の血流が悪くなり、腸の組織に障害を起こすことがあるため、速やかな治療が必要となります。生後3～4か月ごろから発症が増えるため、2～3回目の接種も、早めに接種を完了しておくことが重要です。

また、接種後に腸重積症を発症する可能性もあるため、突然はげしく泣く、機嫌が良かったり不機嫌になったりを繰り返す、嘔吐する、血便がでる、ぐったりして顔色が悪いなどの症状が一つでもみられた場合や、いつもと様子が違うと感じた場合は、速やかに医療機関を受診させてください。特に、初回接種後、2週間程度は腸重積症の発症の可能性が高まるといわれていますので、お子様の体調をよく観察してください。

3 対象者・接種スケジュール・接種方法

接種日時時点で小平市に住所を有し、ワクチンの種類ごとに以下の接種期間にある方

(1) ロタリックス

出生6週0日後から24週0日後までに、27日以上の間隔をおいて2回経口接種（毎回1.5ml）

(2) ロタテック

出生6週0日後から32週0日後までに、27日以上の間隔をおいて3回経口接種（毎回2ml）

※安全性の観点から、どちらのワクチンも初回接種は出生14週6日後までです。

※どちらのワクチンも有効性は同等と考えられています。なお、すでに接種したワクチンとは別のワクチンに途中で変更することはできません。原則、同一のワクチンで接種を完了してください。

※ロタウイルスワクチンは、接種医の判断と保護者の方の同意によって、他のワクチンと同時に接種することができます。同時の接種を希望する場合は、接種医とよく相談してください。

※小平市から転出された方は、転入先の自治体で予診票をお受け取りください。

4 接種費用

自己負担なし

5 接種場所

別紙の「小平市予防接種指定医療機関一覧」をご覧ください。

6 医療機関に持参するもの

母子健康手帳、ロタウイルス感染症予防接種予診票

7 次の方は接種を受けないでください

(1) 体温37.5度以上の発熱をしている方。

- (2) 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方。
- (3) 過去にロタウイルスワクチンを接種した際に、過敏症やそれを疑う症状のあった方。
- (4) 先天性消化管障害を有する方（腸重積症の発症を高める可能性があるため）。なお、手術等により治療が完了した場合は、接種を受けることができる可能性があるため、医師にご相談ください。
- (5) 腸重積症にかかったことのある方（腸重積症の再発の恐れがあるため）。
- (6) 重症複合型免疫不全を有する方（免疫不全のため、生ワクチンに含まれるウイルスにより重い感染症になるおそれがあるため）。
- (7) 上記のほか、予防接種を行うことが不適当な状態にある方。

8 次の方は接種前に医師にご相談ください

- (1) 胃腸障害（活動性胃腸疾患や下痢等）、心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害等を有する方。
- (2) 免疫不全の可能性がある場合や、免疫抑制剤やステロイドを来す治療を受けている場合又は近親者に先天性免疫不全症の方がいる方。
- (3) 過去に予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた方又は全身性発疹等のアレルギーを疑う症状のみられた方。
- (4) 過去にけいれん（ひきつけ）をおこしたことがある方。
- (5) 出生してから現在までに医療機関の受診や入院を必要とした方。
- (6) 母親が妊娠中や授乳中に免疫機能を抑制する薬（免疫抑制薬、膠原病・リウマチの治療薬など）の投与を受けた方。
- (7) 接種しようとするワクチンの成分で、アレルギーをおこすおそれのある方。

9 接種前の注意

- (1) 医療機関へ予約をしてから接種に行ってください。
- (2) 接種前日は入浴やシャワーをさせ、体を清潔にしましょう。
- (3) 予防接種は、体調の良い日に受けてください。
- (4) 予診票は、医師が接種の可否を判断するための大切な情報となりますので、正確に記入してください。
- (5) 接種前30分間は授乳等を控えてください。

10 接種後の注意

- (1) 接種後30分間は、ショックやアナフィラキシーがおこることがありますので、医師とすぐ連絡が取れるようにしておきましょう。
- (2) 接種後2週間程度はお子さんの状態を良く観察し、特に腸重積の症状にご注意ください。万一、高熱やおう吐など異常な副反応がでた場合は、早めに接種医の診察を受けてください。
- (3) 接種直後にミルクなどと一緒に吐き出すことがありますので、接種後30分間は授乳等を控えてください（なお、吐き出した場合も再接種の必要はありません）。
- (4) 接種当日は入浴をしても差し支えありません。いつも通りの生活をし、激しい運動は避けるようにしましょう。
- (5) 接種後、ウイルスが便中に排泄されるため、おむつ替えの後は手洗いを十分にしましょう。

11 予防接種健康被害救済制度（市にご相談ください）

一般的に、ワクチン接種では、副反応による健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が、極めて稀ではあるものの避けることができないことから、救済制度が設けられています。

救済制度では、予防接種を受けた方に健康被害が生じた場合、その健康被害が接種を受けたことによるものであると厚生労働大臣が認定したときは、予防接種法に基づく救済（医療費・障害年金等の給付）を受けることができます。

問合せ 小平市健康福祉部健康推進課

〒187-0043 小平市学園東町1-19-12 （小平市健康センター内）

電話：042-346-3700 Eメール：vaccination@city.kodaira.lg.jp